



北陸学院大学

受講料
無料

レデック
RDeC
地域教育開発センター

公開講座

2023

テーマ
未来への
ポリフォニー



連続
公開講座

貧困の現場から 社会を変える

～生活困窮者支援の現場から～

講師

稲葉 剛氏
TSUYOSHI INABA



日時

2023/6/10 [土] 13:00～15:00

2020年春に始まったコロナ禍では国内でも貧困が拡大し、世代や性別、国籍を問わず、生活に困窮して住まいを失う人が続出する「貧困パンデミック」が生じました。昨年からの物価高騰や世界的な気候変動も人々の生活に大きな影響を与えています。生活に困窮する人々の「住まい」を支える活動の現場から見てきた日本社会の現状をお伝えし、セーフティネットをどう再構築すればよいのか、ともに考えていきたいと思います。

定員

120名

会場

北陸学院大学 石川県金沢市三小牛町イ11番地
(TEL) 076-280-3856

司会

田中 純一
(地域教育開発センター長、社会学科教授)

参加対象 一般

講師プロフィール

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、認定NPO法人ビッグイシュー基金共同代表、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科客員教授。1969年広島県生まれ。94年より、新宿において路上生活者支援の活動に取り組む。2001年、自立生活サポートセンター・もやいを設立し、幅広い生活困窮者への相談・支援活動を展開。2014年まで理事長を務める。2014年、つくろい東京ファンドを設立。空き家を活用した「ハウジングファースト型」の住宅支援を進めるとともに、「住まいは人権」、「生活保護は権利」との発信を続けている。

著書

『貧困パンデミック』(明石書店)、『閉ざされた扉をこじ開ける』(朝日新書)、『貧困の現場から社会を変える』(堀之内出版)、『ハウジングブア』(山吹書店)、『コロナ禍の東京を駆けける』(共編著、岩波書店)、『ハウジングファースト』(共編著、山吹書店) など多数。



託児について

利用無料

完全予約制

対象 0～6歳

定員 10名

締切 5/26(金)まで

ご希望の方は「託児希望」とお書き添えの上、お申し込みください。必要事項について確認のご連絡をさせていただきます。

生涯学習講座

小松豪雨災害から1年 ～次の災害に備える～

講師

小松市社会福祉協議会職員
よりそいの花プロジェクトメンバー

司会

田中 純一
(地域教育開発センター長、社会学科教授)

日時

9/30^{〔土〕} 10:00～11:30

定員
80名

第3視聴覚室にて

2022年8月の豪雨災害は石川県内各地に被害の爪痕を残しました。中でも甚大な被害を受けたのが小松市です。コロナ禍でボランティア受け入れが制約される中、いかにボランティアを受け入れたのかについて、小松市社会福祉協議会担当者にお話しいただくとともに、次の災害に活かす支援のあり方について考えます。当日は小松市中海町で継続的にボランティア活動に取り組んできた本学学生団体「よりそいの花プロジェクト」による活動報告もあります。

申込期限 9月22日(金)

参加対象 一般、大学生

冬の連続公開講座

災害被災地をたずねて ～私たちのできること～

司会

田中 純一
(地域教育開発センター長、社会学科教授)

講師

川淵 映子氏

EIKO KAWABUCHI



日時

10/7^{〔土〕}
13:00～14:30

定員
80名

1996年以降、ベトナム、スマトラ、フィリピン、中国、ネパール、シリア、トルコなど、戦争や災害で危機的状況にあるところに、直接足を運び支援を行ってきました。そのどれもが、身近な人からの「助けて!」の声にこたえるものでした。今年2月6日のトルコ・シリア大地震発生の際は、富山在住の友人サリム・マゼンさんから、「一緒に行ってくれないか」と電話があり、スーツケースに飴とタオルと薬を詰め込んで、2月15日～24日まで支援に行きました。

講演当日は、これまで行ってきた支援の映像をお見せしながら、それぞれの特徴と支援についてお話ししたいと思います。

申込期限 9月29日(金)

参加対象 一般、大学生

講師プロフィール

難民支援NGO「アジア子どもの夢」代表
東日本震災支援ボランティア「東北AID」代表

略歴	
1970年	北陸学院短期大学 保育科卒業
1971年	神奈川県横浜市 日本水上学園(養護施設)勤務
1974年	南ベトナムの日本人学校付属幼稚園勤務
1975年	結婚
1996年	ベトナム再訪。仲間と「アジア子どもの夢」を発足し、ベトナムをはじめ、世界各国の被災地支援、チャリティー・コンサート等の活動を開始

健康科学部（栄養学科）

いざという時に備える栄養と食事

講師 石川県栄養士会 会員（管理栄養士）
コーディネーター 俵 万里子（短期大学部食物栄養学科講師）
三田 陽子（健康科学部栄養学科講師）

日 時 7/29 [土] 調理実習室にて 10:00～12:00

定員 8名
※1 ※2
グループ

※1/ 熱源はガスです。あらかじめご承知おきください。※2/ 1グループは1名～4名。

私たちの生活は災害と無関係ではられません。同時に、どのような状況でも食することは欠かせないことで、私たちの健康状態を左右します。この講座では、非常時、自分や家族を守る食べ方のコツを学びます。また、熱源と最小限の水で、ポリ袋を使って簡単に調理する方法を体験します。お子様とご一緒に参加も歓迎します。

最小催行人数 3グループ 申込期限 7月21日(金)

参加対象 高校生、大学生、一般、ファミリー

持ち物 エプロン、三角巾、マスク、手拭きタオル 材料費 500円程度

親子で楽しむおやつづくり

講師 栄養学科・食物栄養学科教職員

日 時 9/30 [土] 調理実習室にて 10:00～12:00

定員 8組
※1

※1/ 熱源はガスです。あらかじめご承知おきください。

成長期の子どもにとっておやつは身体をつくるものであり、楽しみでもあります。また、慌ただしい日々の生活の中で、親子で一緒におやつをつくる機会は貴重です。この講座では、子どもの体と心を育むおやつを親子で楽しみながらつくります。

最小催行人数 3組 申込期限 9月22日(金)

参加対象 未就学児、小学生と保護者

※参加者の方には、マスクの着用をお願いいたします。
食物アレルギーがある場合、申込み時にお知らせ下さい。

教育学部（初等中等教育学科）

バイオリギングデータを活用した 小学校における学習プログラムを考えよう

講師 川真田 早苗（初等中等教育学科教授）

日 時 5/30 [火] 10:30～12:00

定員 20名

「バイオリギング」とは陸や海の野生動物に行動記録用の電子端末「データロガー」を装着し、生態を観察する科学分野や技術のことです。本講座では、アカウミガメとアオウミガメの行動記録（バイオリギングデータ）を視聴し、本データを活用し、どのような学習プログラムができるかを一緒に考えていきます。

最小催行人数 5名 申込期限 5月23日(火)

参加対象 大学生、小学校教員

教育学部（幼児教育学科）

教育における 多様性（ダイバーシティ）を考える ～「みんなと違う」うちの子どもたちはどう育ったのか～

講師 ポーター 倫子（幼児教育学科教授）

日 時 7/8 [土] 13:00～14:30

定員 50名

日本の学校教育における多様性の概念は未だ新しく、外国籍をもつ子どもの受け入れや英語教育に議論がとどまっているように思います。本講座では、米国で自閉症児とギフテッド児を育てた私の体験をもとに、その子の「強み」を引き出し、「違い」に対して寛容な米国の教育について紹介したいと思います。

最小催行人数 20名 申込期限 6月30日(金)

参加対象 教員、保育者、一般



社会学部（社会学科）

観光が社会に与える影響

講師 沢田 史子（社会学科教授）

日時 8/26^{〔土〕} 10:00～11:00

観光は経済波及効果とともに、交流人口の増加や地域文化の振興などの効果が期待できます。一方で、過剰な訪問者により地域住民の生活や自然環境に悪影響を与えることもあります。本講座では、このような観光が社会に与える影響について紹介し、持続可能な観光について考えます。

申込期限 8月18日（金）

参加対象 大学生、一般

ソーシャルメディアのことを学ぼう ～メディア社会学入門～

講師 内田 啓太郎（社会学科准教授）

日時 10/21^{〔土〕} 大学祭2日目
10:00～11:00

ソーシャルメディアは年齢や性別を問わず、わたしたちの日常生活に必要な不可欠なものとなっています。このメディアは新しい社会空間を生み出し、そこでは多くの人びとが自己を表現し、結びついています。本講座ではメディア社会学の観点からソーシャルメディアへの理解を深め、このメディアを上手く使いこなす方法について学びます。

申込期限 10月13日（金）

参加対象 高校生、大学生、一般

キャリアアップ講座

管理栄養士国家試験 対策講座

講師 栄養学科・
食物栄養学科教員及び外部講師

コーディネーター 新澤 祥恵（栄養学科教授）
田中 弘美（栄養学科教授）

最小催行人数 5名 申込期限 9月1日（金）

参加対象 管理栄養士国家試験合格を目指す栄養士

受講料 本学卒業生 無料 卒業生以外の方 10,000円

模擬試験及び資料代 8,000円 教材費 テキスト購入申込みの場合 別途8,000円程度

ガイダンス日時

9/9^{〔土〕} 13:00～16:30

講座日時

9/16^{〔土〕}、30^{〔土〕}
10/7^{〔土〕}、21^{〔土〕}、28^{〔土〕}
11/4^{〔土〕} 土曜日6回

9:00～16:00（昼食 12:00～13:00）

27教室にて

※日程等詳細は後日、本学ホームページよりお知らせいたします。

2024年春の管理栄養士国家試験の合格に向けて、出題傾向に沿って内容を解説します。また最新の情報等を提供します。さらに模擬問題の演習を行い、解説や留意点の補足を行います。



キリスト教関連講座

歴史とオルガンが 奏でる未来

講師

楠本 史郎（北陸学院大学学長・学院院长）
山本 悦子（北陸学院ウィン館館長）
春日 朋子（北陸学院中学校・高等学校キリスト教音楽主事）

日時

8/26^{〔土〕} 14:00～16:00

会場

北陸学院飛梅キャンパス 石川県金沢市飛梅町1-10
北陸学院中学校・高等学校、資料編集室（ウィン館）、
栄光館グロリアチャペル

北陸学院はこれまで138年の歴史を刻んできました。その歩みそのものが、北陸地方のキリスト教史・郷土史の大事な一部です。この講座では学院史料編集室（ウィン館）に所蔵される北陸地方のキリスト教史に関わる貴重な資料を見学し、その上でチャペルのパイプオルガンの讃美演奏に耳を傾け、歴史と未来に思いを馳せます。

申込期限 8月18日（金）

参加対象 一般、大学生、同窓生

駐車場のご利用について

駐車スペースがありませんので、近隣の駐車場（本多の森ホール前の石川県石引駐車場等）をご利用くださるか、公共交通機関をご利用ください。

社会連携講座

トルコ・シリア地震 緊急帰国報告会

講師

吉椿 雅道氏（CODE海外災害援助市民センター事務局長）
植田 隆誠氏
（CODE学生スタッフ 関西学院大学総合政策学部4年）
島村 優希氏
（CODE学生スタッフ 大阪大学人間科学部4年生）

司会

田中 純一（地域教育開発センター長、社会学科教授）

日時

4/22^{〔土〕} 13:00～14:30

開場 12:30

第3視聴覚室にて

定員
80名

2023年2月に発生したトルコ・シリア地震では5万人を超える犠牲者が発生しました。現地ではなお多くの市民が過酷な避難生活を余儀なくされており、支援を必要としています。今回は3月末の第二次派遣を終え、帰国したばかりのNGO事務局長が来沢し、最新のトルコ情勢を報告します。当日は第一次（2月）、第二次派遣（3月）に同行した学生スタッフ2名も現地での体験を語ります。

参加対象 一般、大学生

お申込み方法

受講を希望される方はWebからお申込みください。

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/redec-application/>



受講料
無料

- ※お申し込み後、本学からのメール返信(redec@hokurikugakuin.ac.jp)を受け取ることでできる設定をしてください。
- ※記載いただいた個人情報は北陸学院大学地域教育開発センターからのお知らせ以外には使用しません。
- ※受講者数が最少催行人数に満たない場合は、講座を実施することが難しくなりますので、事務局の判断で中止とさせていただきます。予めご了承ください。中止の場合は電話またはメールでご連絡いたします。
- ※定員が設定されている講座は先着順とさせていただきます。定員に達し次第申込終了とさせていただきます。

※材料費は実費で当日徴収させていただきます。

会場

※教室等は当日ご案内いたします。



アクセスマップ

お問い合わせ



北陸学院大学 地域教育開発センター

〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11番地

(Mail) redec@hokurikugakuin.ac.jp

(TEL) 076-280-3856

(URL) www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/redec



お車でお越しの場合

■ 高速道路利用(金沢市内経由) (約30分)

北陸自動車道・金沢西インターチェンジより国道8号「松島北」を金沢市内へ。野町広小路・寺町・平和町交差点を経由し、金沢市老人福祉センター万寿苑を過ぎて右に。三小牛町内を左折。

■ 山側環状線利用

金沢市森本方面から

杜の里経由、「野田町西」を右折し、「野田町」を右折。金沢市老人福祉センター万寿苑を過ぎて右に。三小牛町内を左折。または「長坂台小学校東」を左折、実践倫理弘正会研修会館前を左折し、三小牛町内を右折。

白山市方面から

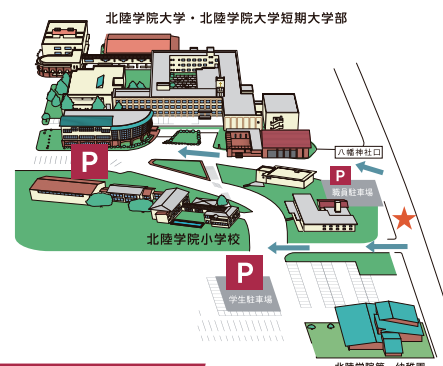
「長坂台小学校東」を右折し、実践倫理弘正会研修会館前を左折し、三小牛町内を右折。



バスでお越しの場合

金沢駅から (約30分+徒歩3分)

JR金沢駅兼六園バスターミナル10番のりばより、北陸学院大学行(路線番号21)または内川小学校前小原行(路線番号25)乗車、約30分。北陸学院大学下車、徒歩3分。



駐車場のご案内